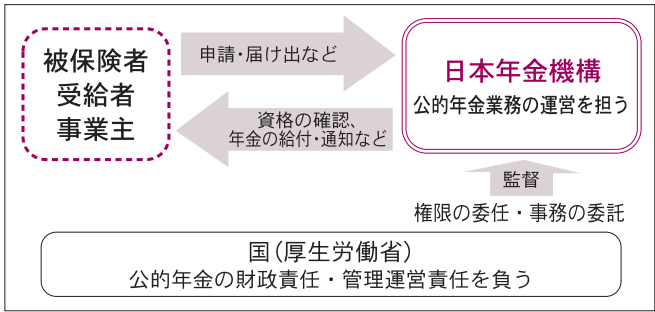


来年1月から
日本年金機構が
公的年金業務を運営



来年1月から、新たに設立される「日本年金機構」が公的年金業務の運営を行います。これは、社会保障庁が廃止されたことにより、同機構が国から権限の委任、業務の委託を受けたことによるものです(上図参照)。

海老名市を管轄する「厚木社会保険事務所」は「厚木年金事務所」に名称変更しますが、所在地・電話番号は変わりません。相談などの窓口として利用できます。

また、これまで社会保険庁または社会保険事務所の

名義で発行していた書類は、厚生労働省または同機構の名義となりますが、年金の受給者や加入者が新たに手続きなどをする必要はありません。

政・管理運営は、引き続き国が責任を持ちます。
● 厚木社会保険事務所
国民年金課(☎223・9082)・市保険年金課(☎235・4596)。

12/4~10は人権週間
パネル展・特設相談
実施します

12月4日(金)から10日(木)までは「第61回人権週間」です。これに合わせて、市で

は各種事業を実施します。
◇人権パネル展
文化・スポーツなど、各分野で活躍する方から寄せられた人権についてのメッセージを、パネル展示します。
▽開催日 12月4日(金)~10日(木)▽会場 市役所1階エントランスホール
◇特設人権相談
相談は無料で、秘密は守られます(予約制)。お気軽にご利用ください。
▽日時 12月4日(金)9時

30分~12時▽受付場所 市役所702会議室▽相談事項 親族・近隣・悩み事一般
◇街頭啓発活動
▽日時 12月4日(金)14時~15時▽場所 海老名駅前東口自由通路
◇毎月第4回に
人権相談を実施中
人権相談は、毎月第4回13時から16時まで市民相談室で行っています(予約制)。また、人権擁護委員の自宅でも相談をお受けしています。必ず事前に電話連絡の上お出かけください。
【人権擁護委員】(50音順)
○伊藤清子(いとう きよこ)：大谷北2・27・7、☎232・7315
○大西幸道(おおにし こうどう)：国分北2・13・40、☎231・5074
○柴崎政光(しばさき まさみつ)：上今泉1・17・4567)。



市では、えびなの森創造事業の一つとして、皆さんが行った植樹の報告を募集しています。今回、新たに報告をした方の中から抽選で10人に、歌手でかながわ環境大使の白井貴子さん直筆の、メッセージとサイン入りの第3回市民植樹祭(11月3日開催)ポスターを進呈します。
▽対象 市民・企業・各種団体などで、今年4月1日以降に木本性植物(Ⅱ地上部が木質化する植物)を植え、今回新たに植樹報告する方(樹木の大きさ・種類は不問。鉢植え可)
▽植樹報告方法 ①氏名 ②住所③植えた日④樹木名 ⑤本数⑥場所(番地など) ⑦メッセージ(写真添付可) ⑧市ホームページへの氏名掲載の可否を、電話またはファクス・はがき・市ホームページから政策事業推進課へ。受け付け後、「えびなの森の木」として登録し、報告者に「えびなの森の住民カード」を送付します。
※収集した個人情報には事業の目的以外には使用しません。
● 植樹報告のメッセージ欄に、「白井貴子サイン入りポスター希望」と明記の上、12月28日(木)必着で同課へ。なお、ポスターの発送をもって抽選結果とします。
● 同課(☎235・4635)。

市政の
現場から

宮城県白石市とは、平成6年に姉妹都市を提携してから、今年で15年目を迎えました。

この間、姉妹都市交流事業として、少年野球、水泳、剣道、ソフトテニスなどのスポーツ交流や短歌、書道、絵画などの文化交流、小中学生による教育交流を展開するとともに、「姉妹都市訪問ツアー」を実施しています。

また、これまで当市では、88歳を迎えられた市民の方に米寿のお祝い金(現金8000円)をお渡ししていましたが、今年

など白石市の物産を直接ご自宅にお送りしたところ、お礼の手紙や電話をいただくなど大変好評を得たところです。
白石市の風間市長とは、毎年、両市の代表的なイベントである「白石市農業祭」と「えびな市民まつり」に参加することに

姉妹都市「しろいし」

しております。風間市長は、とても気さくな人柄です。両市の市政等について、忌憚(きたん)のない意見交換をしています。

今年も、先月開催された白石市農業祭に参加しましたが、その時には白石市のもう一つの姉妹都

市である「北海道登別市」の小笠原市長にもお会いし、三市長による会談を行いました。
この中で、八都府市で定めた排ガス規制により使用できなくなる当市の消防団ポンプ車を、近々海外へ寄贈する話をしたところ、登別市長から地定を結び、援助強化を図りたいという提案がありました。北海道・東北・関東におけるトライアングルの災害協定が形成されることは、当市としても大賛成でありますので、三市で前向きに検討してまいります。
白石市は風光明媚(めいび)で白石城などの観光スポットや温泉があり、とても素晴らしいまちです。当市では、市民が白石市に宿泊する際、その経費の一部を助成する湯けむり交流支援事業を行っています。ぜひ、この制度を利用いただいて、白石市を一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

市長 内野 優

冬の省エネにご協力を

冬は、電気・ガスなどエネルギーの消費量が多くなり、家庭からの二酸化炭素排出量が増える季節です。

室内でも普段より服を1枚多く着て、暖房の設定温度を1℃低くしたり、家族で時間を空けずに入浴したりするなど、少しの工夫で

省エネにつながり、家計の節約にも役立ちます(下表参照)。限りある資源を大切にするため、また、地球温暖化防止のために、日常生活の中で簡単にできる省エネを実践してください。

● 環境保全課(☎235・4912)。

日常生活でできる省エネの例		1台当たり(年間)	
		二酸化炭素排出抑制量(kg)	節約金額(円)
エアコン	暖房の設定温度を1℃下げる(21℃→20℃)	24.0	1,170
電気カーペット	設定温度を強→中(弱)に下げる(3畳用、1日5時間使用)	84.2	4,090
電気こたつ	上掛けと敷布団を併用して設定温度を強→中(弱)に下げる	36.9	1,790
照明	白熱球(64W)を電球型蛍光灯(12W)に交換する(1個当たり)	38.1	1,850
テレビ	画面の掃除等により、明るさ・音量を適正にする(ブラウン管25型、輝度・音量を大→中)	14.6	710
掃除機	部屋を片付けてから掃除機を使用する(1日1分間使用短縮)	2.5	120
冷蔵庫	冷蔵温度設定を強→中(弱)に下げる(周囲の温度22℃)	28.0	1,360
温水便座	使用していないときにはふたを閉める	15.8	770
洗濯機	まとめ洗いを(定格容量の4割→8割)	2.7	3,950
石油ファンヒーター	上着やひざ掛けなどを使ってヒーターの設定温度を下げる(21℃→20℃)	25.4	780
給湯器	家族で時間を空けずに入浴する(追いだし実施時との比較)	87.0	5,920
ガスこんろ	野菜の下ごしらえに電子レンジを活用する(果菜…ブロッコリー、カボチャ)	13.9	1,080
自動車	アイドリングストップを心掛ける	40.2	2,040

(出典：(財)省エネルギーセンター 家庭の省エネ大辞典)

便利です！「えびなメールサービス」

登録はebn@posh.jpあて空メールを送信。詳しくは、市ホームページまたは情報システム課へ